

ボランティア通信

令和7年1月24日 日吉小・中学校区地域学校協働本部発行

★ ジオラマの人形作り ★

12月中に、小学校全児童が「四万十街道ひなまつり」にて展示される、「ジオラマの人形作り」を実施しました。1・2年生は郷土学の時間を、3～6年生はクラブや学級活動の時間を使い、本校校務員が講師になり、作り方を教えました。

講師はあらかじめ、1・2年生には頭部と胴体と手足を、3～6年生には頭部を準備しました。頭部に髪の毛や目などを描き込んだ後は、1・2年生は頭部と胴体と手足を付ける作業に取り組みました。3～6年生は、胴体と手足を自分たちで作る作業にも取り組みました。完成したジオラマの人形を手にとった児童たちの笑顔はきらきら輝いていて、「来年も作りたいです。」との声がたくさん上がっていました。

材料選びの段階から、いろいろな着想を出した講師のおかげで、個性豊かで質の高い人形が完成しました。3月の展示を楽しみにしています。



★ 奈良山等妙寺歴史交流館及び旧境内見学 ★

12月9日(月)に、鬼北町役場教育課課長補佐の案内で、小学5・6年生が「奈良山等妙寺歴史交流館及び旧境内」を訪れました。歴史交流館では、旧境内に関する動画の視聴や展示品を見学させていただきました。

さらに、旧境内に紐づけられた鬼北町の歴史や背景についても教えていただきました。

歴史交流館を出た後は、旧境内を目指して登りました。旧境内は、現在、史跡公園として整備されていて、気軽に訪れることができる場所になっています。

そして、旧境内を強く印象付ける石積みを見て、高度な技術を用いられているからこそ現存されていることも、教えていただきました。

町内にある貴重な国史跡について、学びを深めた郷土学になりました。



★ しめ飾り作り ★

12月25日(水)に、小学校で、小学校全児童と中学1・2年生が「しめ飾り作り」を実施しました。当日は、多くの地域の方々にお越しいただき、しめ飾りの由来や意味を教えていただきました。

その後は、各学年に分かれて、しめ飾り作りに取り組みました。小学校低学年には、しめ飾り作りが難しくならないようにと、地域の方々が事前にベースを作っていました。そのおかげで、低学年児童はスムーズに飾り付けができ、他学年児童と生徒たちは楽しく藁を編む作業から開始して、完成させることができました。

2学期末の寒い時期ではありましたが、毎年、このように地域の方々に支えられて様々な活動ができることを、大変ありがたいと思います。御協力いただきました地域の皆様、ありがとうございました。

